



平成 26 年 4 月 28 日

各 位

会社名 澤田ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 澤田 秀雄
(コード 8699 JASDAQ)
問合せ責任者 取締役 三嶋 義明
TEL 03-4560-0398(代表)

平成 26 年 3 月期業績と平成 25 年 3 月期業績との差異並びに 剰余金の配当に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績と前期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の業績との間に差異が生じました。また、剰余金の配当を平成 26 年 6 月 27 日開催予定の第 57 期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期の業績と平成 25 年 3 月期の業績との差異について

(連結業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 26 年 3 月期の連結業績 (A)	43,566	8,936	9,311	6,005
平成 25 年 3 月期の連結業績 (B)	28,661	4,583	5,200	3,016
増減額 (C)=(A)-(B)	14,905	4,353	4,110	2,988
増減率 (%)	52.0	95.0	79.0	99.1

(個別業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 26 年 3 月期の個別業績 (A)	177	△ 18	154	2
平成 25 年 3 月期の個別業績 (B)	684	498	717	1,518
増減額 (C)=(A)-(B)	△ 507	△ 516	△ 563	△ 1,516
増減率 (%)	△ 74.1	—	△ 78.5	△ 99.8

平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の連結業績は、モンゴルの経済成長を背景として銀行関連事業が引き続き好調に推移し、また、証券市場の活況を受けて証券関連事業の収益も増加いたしました。さらに、投資有価証券売却益を計上した結果、当期純利益は 60 億 5 百万円となりました。

また、個別業績につきましては、前期（平成 25 年 3 月期）と比較して関係会社受取配当金の減少や関係会社株式売却益がなかったこと等により、当期純利益は 2 百万円となりました。

2. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (平成 25 年 3 月期)
基準日	平成 26 年 3 月 31 日	同左	平成 25 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	7 円 00 銭	未定	5 円 00 銭
配当金総額	281 百万円	—	201 百万円
効力発生日	平成 26 年 6 月 30 日	—	平成 25 年 6 月 28 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、業績に対応した利益還元を行うことを基本方針としておりますが、今後の事業展開と経営体質の強化、財務内容の充実を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していく方針であります。

当期の配当につきましては、財務内容及び連結業績の増益等を勘案し、1 株当たり 7 円の配当（前期と比較して 1 株当たり 2 円の増配）を平成 26 年 6 月 27 日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期（平成 27 年 3 月期）の配当につきましては、当社の主たる事業である証券業は市場環境の変動の影響を大きく受ける状況にあり、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。

以 上